



Numazu association for International Communications &amp; Exchanges

発行日 2022年6月30日  
発行者 NICE 沼津国際交流協会  
(企画広報部会)  
所在地 沼津市御幸町16番1号  
(事務局) 沼津市役所地域自治課内  
☎055-934-4717  
FAX055-931-2606  
<http://www.nice-numazu.org/>



**これからの時代に求められる  
新たな国際交流を共に進めていこう!**



## 企画広報部会

令和4年度沼津国際交流協会総会が5月29日(日)14時より沼津市民文化センター2階(大会議室)にて3年ぶりに執り行われました。議事に先立ち、来賓の皆様を代表して沼津市副市長 碓谷明正様よりご祝辞を賜りました。



碓谷副市長からは「沼津国際交流協会の皆様方には、姉妹都市や友好都市との交流をはじめ、沼津市在住の外国人の方々への日本語支援や市民との交流イベント開催など、様々な事業を積極的に展開され、本市における国際交流の推進に多大なるお力添えをいただいていることに対し、心から感謝申し上げます。現在、沼津市には、約4,200人の外国籍の方が在住しており、近年は定住化の傾向にあります。外国人住民が、地域の一員として安心して生活していくためには国籍や文化、習慣の違いを理解し、尊重し合う多文化共生意識の醸成が大切であり、その意味でも貴協会の活動がますます重要となっております。沼津市では、来年7月1日に市制100周年を迎えます。これを契機に、沼津国際交流協会の皆様が長年培ってきた多文化共生のノウハウや会員のネットワークを活用し、今後も更なるお力添えをいただくとともに、国際交流のなお一層の推進をお願いするものであります。」とお話を頂戴いた

しました。



協会規約により田中会長が議長を務め、式次第に基づき令和3年度事業報告、事務局から会計報告、青木監事より会計監査報告がありました。続いて令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)が



上程され、原案通り承認されました。令和4年度沼津国際交流協会総会は皆様のご協力をいただき、滞りなく終了しました。ありがとうございました。

## 令和4年度・5年度 沼津国際交流協会役員紹介

顧問	沼津市長	頼重 秀一
	沼津市議会議長	浅原 和美
	沼津商工会議所会頭	紅野 正裕
	第2代会長	安田 政義
参与	沼津市自治会連合会会長	小林 昭
会長		田中 治之
副会長		杉原勢津子
〃		長澤 芳明
〃		山口 和一
理事		芦川みゆき
〃		遠藤 啓太
〃		加藤 元章
〃		谷口 淑
〃		陳 浩
〃		山口 展徳
〃		斉藤 和子
〃		渡辺 俊次
	沼津商工会議所出向理事	内藤 久資
	沼津青年会議所出向理事	小澤 隆
企画広報部会	部会長	降矢 拓実
	副部会長	加藤 明子
国際理解教育部会	部会長	南島 隆幸
	副部会長	大場 康弘
ふれあい部会	部会長	實石 学
	副部会長	大熊 宏幸
カラマズー部会	部会長	鈴木 登雄
	副部会長	鈴木 智晶
岳陽部会	部会長	濱道 知
	副部会長	山川 茂子
監事		青木 章夫
〃		松井 泰樹

(令和4年5月末現在)

## 2021年度沼津国際交流協会講演会

2022年2月26日（土）沼津国際交流協会として初めてのZoomによるオンライン講演会を、一般社団法人ダイバーシティ研究所代表理事田村太郎氏による「これからの時代に求められる新たな国際交流の在り方」と題して実施しました。

一般社団法人ダイバーシティ研究所  
代表理事 田村 太郎



企画当初は対面での講演会を沼津市立図書館に於いて開催する予定でしたが、1月からの新型コロナウイルスの拡大に伴い急遽Zoomによるオンライン開催に変更しての講演会となりました。又、講師の田村太郎氏には幾度もオンラインによる講演会の経験があり、快く承諾していただきました。

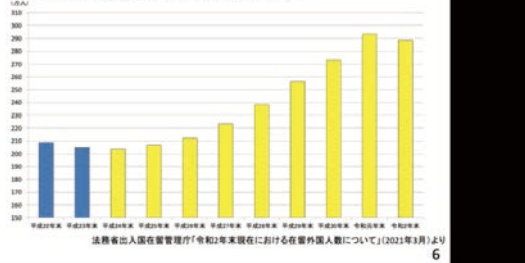
オンラインによる講演会に変更したにも関わらず、募集の仕方から参加の方法、ポスターの変更等、手際よく本番を迎える事が出来ました。

田村太郎氏の講演は、多文化共生の流れから行政の取組、そして国際交流の在り方へと進みました。この新型コロナウイルスがゼロになり、以前の生活様式に戻ると考えずに、この状況が常態であると認識してオンラインにより地域差を無くすことで今までと違う事業の推進（拡大）が可能となり、交流の幅が広がっていくと話されました。

1. 日本で暮らす外国人の概要

### 在留外国人数の状況①総数

・ コロナ禍で4.7万人減少も、2年前よりまだ多い状況



私達はオンラインによる事業やイベントのやり方、そしてツールについてもまだまだ始めたばかりの初心者です。これからも実践しながら先へ進んでいきたいと思えます。

スタッフの皆様、お忙しい中ご協力頂きありがとうございました。

## ウクライナ人道支援募金活動

ウクライナ難民支援の募金活動は「NPO法人沼津災害ボランティアの会」「命のピザ・杉原千畝夫妻顕彰会」の方々より声を掛けて頂き、まず役員のみで3月5・6日、次は各部会の方々に4月23・24日に活動を行いました。この活動で100万円以上の募金が集まり、これを



ポーランドで難民救済活動に取り組まれている坂本龍太郎（日本語学校副校長）さんに送金し「沢山様々な支援活動ができました」との報告を頂きました。

尚、募金活動は引き続き5月～7月にも予定しています。これを協会全体で取り組みたく、皆様のご協力をお願いしウクライナに早く平和が戻る事をお祈りいたします。



会員増強運動実施中！！

**沼津商工会議所**

TEL 055-921-1000 FAX 055-921-1105

前回のザ・NICE117号に掲載された「命のビザ・杉原千畝夫妻顕彰会」記事の続きです。  
※117号は当協会のHPで見ることができます。



2021年11月27日(土) 沼津市民文化センターで杉原千畝「命のビザ・講演会」が開催されました。

### 杉原千畝「命のビザ・講演会」

鈴木 智晶

第3部は「命のビザ、遥かなる旅路」とその続編を執筆された北出明さんの講演でした。北出さんは、かつての上司であった大迫辰雄さんが1940～41年にかけてのユダヤ人の海上輸送に乗務員として関わっていたこと、そして乗船



者から託された7枚の顔写真を大切に保管していたことを知りました。北出さんはその7人の

消息が掴めないものかという思いから活動を開始しました。何回も米国に行き、存命の杉原サイバスターたちに面会したり、遺族から話を聞いて少しずつ手掛かりを見つけ、また当時の新聞記事や記録を辿った末、最終的に5人の消息が判明したそうです。そこに行き着くまでのいきさつやご苦労など、興味深いお話が続きました。そしてこの7人の消息を捜す中で、表に出ずに語られてこなかった多くの人々の存在に気付かされたそうです。



ドイツに占領されたポーランドのユダヤ人にとって唯一残された道は、シベリア鉄道から日本を経由して最終目的地に辿り着くルートでした。杉原千畝さんが発行した日本通過ビザによってこの逃避行が可能になったのです。しかしこの逃避行中の輸送、居食提供、書類手続き、ビザ発行、金銭援助などは、多くの人々の助けなしではありえなかったのです。杉原千畝さんが発行した「命のビザ」それが生かされたのは「命のリレー」があったということ、北出さんの講演と著書を通して知ることができました。



### 顕彰活動企画のお知らせ

#### ・第2回「命のビザ 希望の集い」

2022年10月30日(日) 11:00～  
於 港口公園顕彰碑前 \*雨天中止  
献花・献茶・奉納演奏等

#### ・第3回「命のビザ 講演会」

2022年11月20日(日) 13:00～  
於 プラサヴェルデ大会議室  
入場料 一般 500円  
高校生以下無料

第1部「命のビザを繋いだ男～小辻節三」  
講師 山田純大(俳優杉良太郎さん息子)  
第2部 対談(高校生による質問)

主催 命のビザ・杉原千畝夫妻顕彰会

#### ・沼津市制100周年イベント 「松の翠邦楽演奏会」

2023年3月5日(日) 13:30～  
於 沼津市民文化センター小ホール  
入場料 一般 2,000円  
高校生・中学生 1,000円

主催 松の翠沼津の会  
共催 富鳳会、プロジェクト松の翁  
命のビザ・杉原千畝夫妻顕彰会